

# よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

## 夏休みを計画的に、安全で健康的に過ごす

1学期ももうすぐ終わります。1学期の登校日数は72日間。1年生も小学校生活に慣れ、登校するとすぐに着替えて学習の準備や朝の運動に取り掛かることができるようになりました。6年生にとっては最大の行事である小学校陸上競技大会が行われました。大会を通して、努力することの大切さを実感したようで、昨年の6年生に負けないくらいの高学年としての自覚が備わってきました。今後が楽しみです。4年生は、音楽祭の練習を通して学年としての一体感が現れてきています。9月の素晴らしい演奏を期待しています。2年生は、すっかり1年生のお兄さんお姉さんとして、1年生のお手本のような生活ぶりでした。3年生は、高学年のお兄さんお姉さんに負けないよう、朝の運動では率先してハードルの練習にも参加し、意欲満々です。5年生も運動会や委員会活動を通して高学年としての意識が出てきました。2学期に行われる宿泊活動を通して、協力心や自主性が一層育っていくことを期待しています。

さて、あさってから夏休み。37日間という長い期間です。いつも聞かれるのは「終わってしまった。」という声。一日一日を大切に、そして有意義に過ごしてもらいたいと切に願っています。担任の先生からお話があったと思いますが、そのためには次のことが重要です。

- 1 規則正しい生活を送る。(早寝、早起き、朝ごはんの励行)
- 2 計画的に生活をする。(生活表、学習計画表等に基づいた生活)
- 3 きまりやマナーを守って安全に生活する。  
(特に自転車乗り、川・海での遊び、通信機器での遊び等)

遊びについて学校に寄せられる困りごと相談で多いのは、団地や公園での遊びです。団地住民以外の子どもが、時に団地の子どもと一緒に午後5時以降も石投げなどの危険な遊びをにぎやかに団地や公園内でしていたり、ごみを散らかしたりするという内容です。

次のことを各ご家庭で、ぜひ、守らせていただきますようお願いいたします。

- 1 午前10までは外に遊びに出かけない。午後5時には自宅に帰る。
- 2 昼食は自分の家で食べる。お店でお弁当を買っても自宅に持ち帰って食べる。
- 3 大人の人不在の家の中に入って遊ばない。よその家に迷惑をかけない。

自分の計画に従って、安全にそして健康的に生活できますよう願っています。

### さようなら マイリン先生！

本校に所属している、ALTのマイリン・グリーン先生（カナダ出身）が、7月で5年間の日本での任期を終え、帰国することになりました。

日本語が上手で、指導熱心。みんなから愛されていました。今後の活躍をお祈りします。

### 8月13～16日は学校閉庁日

教員の長時間労働が問題視される中、労働環境改善の一環として学校閉庁日が設けられました。この期間は職員が各種休暇を活用して休むため、学校には職員が不在となります。学校への連絡は17日以降お願いいたします。

## ＝ 7・8月の行事予定 ＝

21日(土)ニュースポーツ	30日(月)水泳指導4・5・6区13:00～
23日(月)水泳指導1・2・3区13:00～	31日(火)水泳指導7・8・9区13:00～
25日(水)水泳指導4・5・6区13:00～	7日(火)土曜学習1～6年 公民館
26日(木)水泳指導7・8・9区13:00～	12日(月)～16日(木)閉庁日；学校に職員がいない日
27日(金)水泳指導1・2・3区13:00～	22日(水)土曜学習4～6年 アンモイトセンター
28日(土)四倉夏まつり	<b>27日(月)2学期始業式</b>

### ネットの上でも保護者による差別？（インターネット上の記事より）

#### — 大切にしたい直接対話と理解 —

本校では余りありませんが、学校においては、日々児童間の問題、保護者間の問題、教師の問題などいろいろな問題が起きています。これらはすべて子どもをよくしよう、安心して学校に通わせようとする思いから起きていることではありますが、中には、もっとお互いにきちんと話し合えば理解し合えるのではないかと思うことがあります。

何気なくインターネットを検索していた時、次のような記事を見つけました。仕事上でメールやインターネットを利用することはあっても、人と付き合う中では直接電話などで話すことを重視している私たちの世代にとっては驚きであり、残念だと思う内容でした。

現役ママが出会った恐怖の「監視塔ママ」

抜粋

2017年10月10日 07時00分更新

文●真野島なな

#### ■「幼稚園ママ vs 保育園ママ」見えない戦い

恐ろしいのは、グループでの情報共有速度です。小学校という新しい世界に子供が足を踏み入れた時期は、保護者としては少しでも情報がほしくなるものですよ。そんなとき、グループLINEは活発化します。

小学校は幼稚園と保育園の出身者が合流する場です。

幼稚園ママの中には、「保育園出身の子は乱暴」というイメージがまだまだ根強くあるようで特に小学校入学前後は保育園の子供たちをかなり警戒しています。そのため、幼稚園ママはわが子を守るために結束し、クラスを超えて、ありとあらゆる情報を収集・共有しています。

「1組のA君は乱暴」 「Bちゃんが、C君にぶたれたみたい」

こういった情報がその日のうちに共有され、ママたちの間を駆けめぐり「危険人物リスト」が作られていきます。情報の対象は同級生にとどまらず、上級生や先生にも及びます。その情報の伝わるスピードは、光速とも呼べるほど。筆者も、子供が学校でトラブルに巻き込まれた際、本人が下校してくるよりも早く、「さくらちゃん（仮名）大丈夫だった？」というLINEが飛んできました。「何事なの!？」と、外出先から急いで帰り、娘の帰宅を待っていると、実はそんなたいしたことはなかった……なんてこともありました。

特に低学年のうちは、子供の情報だけではよくわからないこともあり、うわさや先入観で、話が大きめに伝わることも体験しました。しかし、ママ友LINEには、さらに深い世界がありました。… 以下省略

この記事の内容が事実としたらショックなことです。私も3人の子どもを育てた父親でもありませんから、もし乱暴な子どもがいて、我が子がいつも不安に思っているとしたらこのようなことをして、結束して守ろうとする気持ちも分からないでもありません。しかし、乱暴だとされるお子さんの親御さんだって我が子の性格に悩んでいるかもしれません。学校だって十分気をつけて配慮した教育をしていると思います。今は、インクルーシブ教育といって、障がいのあるお子さんでもできるだけ通常の学級でみんなと一緒に学ばせようという文部科学省の方針で学校が運営されています。いずれにせよ、これは、人権問題にもなりかねません。

いつも願っていること。それは、「みんなで子どもを育てよう！」ということです。

「言うは易し、やるは難し」ではありますが、みんなで対話をして、理解しあってそれぞれのお子さんを立派に自立させていきたいと願っています。

明日から夏休みになります。自分のお子さんへの指導はもちろんですが、他のお子さんへも目をかけてくださり、仲良く安全に生活できるようご協力のほどお願いいたします。